

第140回 関西例会

「学校での社会基礎力を高める  
マネジメント教育への取り組み」

平成30年 3月 9日（金）総合生涯学習センター

近江高等学校 吉田武史

**教師はビジネスの世界で通用するのか？**

## 原田 隆史

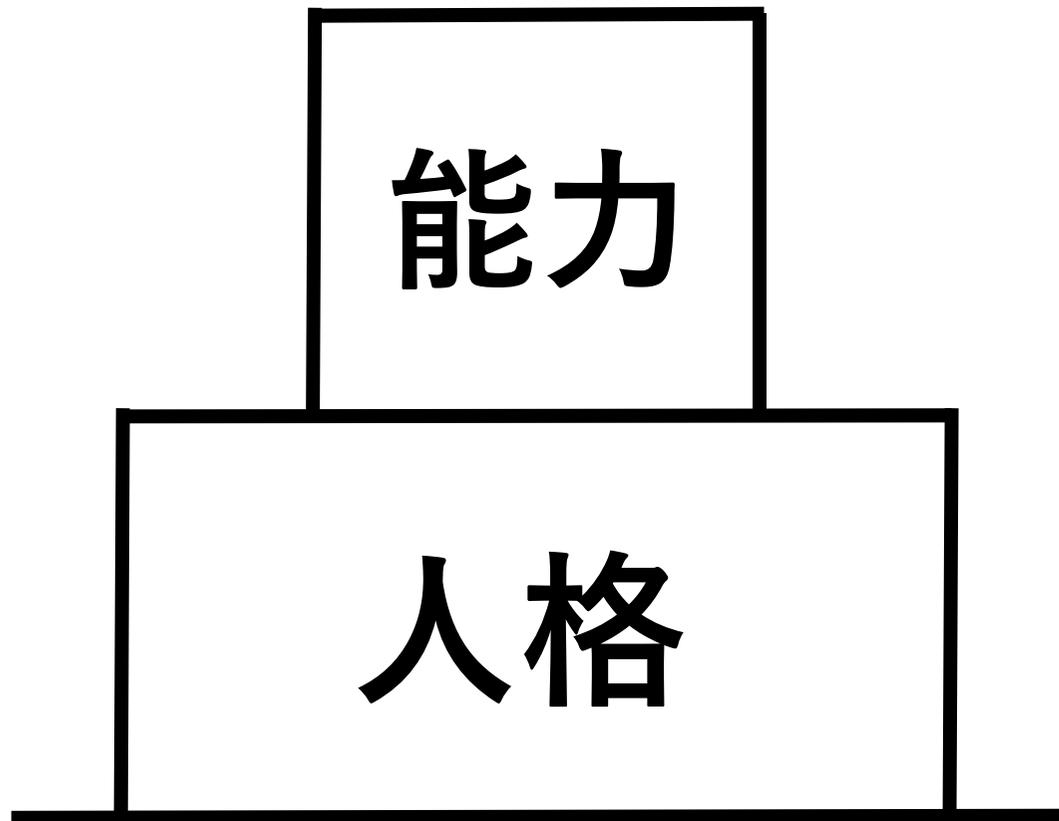
### TAKASHI HARADA

株式会社原田教育研究所 代表取締役社長  
一般社団法人JAPANセルフマネジメント協会  
代表理事

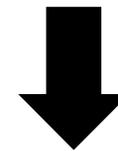
三重県政策アドバイザー

ビジネス・ブレイクスルー大学経営学部教授  
大阪市生まれ。奈良教育大学卒業後、大阪市内の公立中学校に20年間勤務。保健体育指導、生徒指導に注力、問題を抱える教育現場を次々と立て直し「生活指導の神様」と呼ばれる。独自の育成手法「原田メソッド」により、勤務3校目の陸上競技部を7年間で13回の日本一に導く。大阪市教職員退職後、大学講師を経て起業。「原田メソッド」に多くの企業から注目が集まり、企業研修・人材育成の分野で活躍。





人格形成を土台に  
能力発揮のできる  
人間。



学力向上をさせな  
がら、人間力を高  
めさせる授業。

## 自己紹介

- 関西大学文学部史学地理学科卒。卒業と同時に私立近江高等学校に奉職。
- 大阪教師塾(原田隆史氏主宰)に第6期より20期まで参加。
- TA塾(松井直輝先生主宰)塾頭
- 一志塾(異業種TA勉強会)塾頭
- YPC(やまびこ会ペンクラブ)会員
- 虹天塾塾生      ・滋賀便教会世話役
- 滋賀県ラグビーフットボール協会理事。

現在、生徒指導部長。彦根市青少年指導員。

## 本日のコントラクト

- (子供の、社員の) 先生に会ってみよう  
と思っただく。
- TAという言葉覚えていただく。

マネジメント ≠ 管理  
= 経営

リーダーがビジョンを描き、それを具現化、  
具体化するものの全て。

(学級経営、クラブ経営、学校経営、企業経営…)

~~マネージャー~~とは~~組織~~の目標を設定し、~~組織~~を  
教師 クラス クラス  
作る。そして~~部下~~の動機付けやコミュニケー  
生徒  
ションをはかり、その~~部下~~を評価し、それを元  
生徒  
に人材を育成するという使命を持つ。

— ドラッカー —

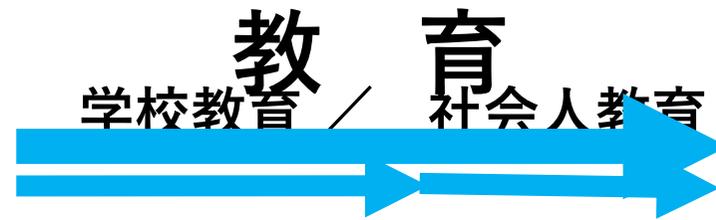
~~教師~~とは、~~生徒~~を広い視野と深い知識を持ち、  
**企業** **社員**  
理想を実現しようとする高い志や意欲を持って、  
個性や能力を生かしながら、社会の激しい変化  
の中でも何が重要かを主体的に判断できる~~人間~~  
**ビジネスパーソン**  
に育てる。

—文部科学省新学習指導要領—



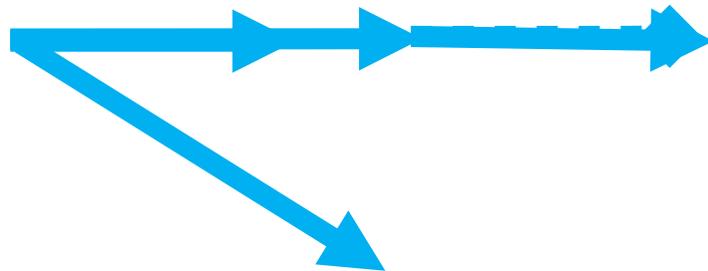
教 育







学校教育 / 社会人教育



# 「社会人基礎力」とは

- 平成18年2月、経済産業省では産学の有識者による委員会(座長:諏訪康雄法政大学大学院教授)にて「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」を下記3つの能力(12の能力要素)から成る「社会人基礎力」として定義づけ。

## <3つの能力 / 12の能力要素>

### 前に踏み出す力 (アクション)

～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～



- 主体性**  
物事に進んで取り組む力
- 働きかけ力**  
他人に働きかけ巻き込む力
- 実行力**  
目的を設定し確実に行動する力

### 考え抜く力 (シンキング)

～疑問を持ち、考え抜く力～



- 課題発見力**  
現状を分析し目的や課題を明らかにする力
- 計画力**  
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
- 創造力**  
新しい価値を生み出す力

### チームで働く力 (チームワーク)

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～

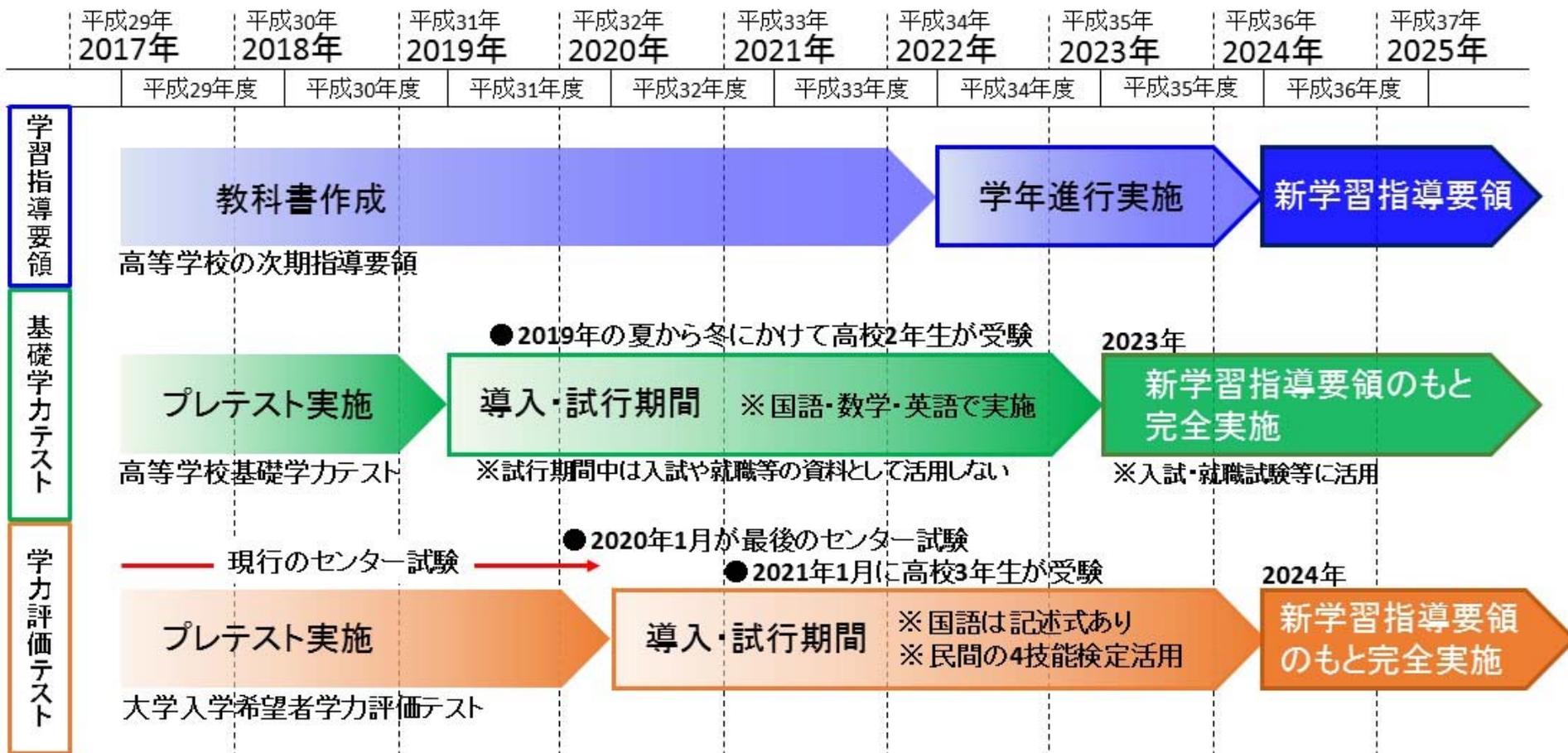


- 発信力**  
自分の意見をわかりやすく伝える力
- 傾聴力**  
相手の意見を丁寧に聴く力
- 柔軟性**  
意見の違いや立場の違いを理解する力
- 状況把握力**  
自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
- 規律性**  
社会のルールや人との約束を守る力
- ストレスコントロール力**  
ストレスの発生源に対応する力

## 教育の現状とこれから

20年前から改革の要求は出ていた。  
文科省の対応の遅さに経産省がシビレ  
を切らした。やっと入試改革。でも今  
やそれも足踏み、鈍化している。

# 新大学入試のスケジュール



・ そんな状況（少子化、大学全入時代）  
の中、大学トップ校は敢えて定員を増や  
した。なぜ？

・ 性急に行われようとしている教育無償  
化（給付型奨学金）。なぜ？

## 学習指導要領改訂の方向性

### 新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする  
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる  
思考力・判断力・表現力等の育成

### 何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、  
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

### 「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

### 何を学ぶか

#### 新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた 教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の  
新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

**学習内容の削減は行わない**※

### どのように学ぶか

#### 主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得  
など、新しい時代に求められる  
資質・能力を育成

知識の量を削減せず、質の高い  
理解を図るための学習過程  
の質的改善

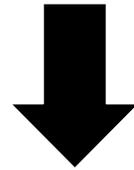
主体的な学び

対話的な学び

深い学び

※高校教育については、些末な事実に基づく知識の暗記が大学入学選抜で問われることが課題になっており、そうした点を克服するため、重要用語の整理等を含めた高大接続改革等を進める。

今までの教育  
(目標追及、達成型) は低下。



これからの教育  
(目的追及、充実型)

これからは自分で課題を見つけ出し、  
改善できる人間でないとダメ。  
でないと「目的達成」はない。



正解主義ではなく、**修正主義**

だから..

今ある自分に気づき、改善してゆけること。心のあり方、考え方を変えて、自分を、自分と人との関係をより良く  
変えてゆける力（マネジメント力）が必要。

コミュニケーション能力

つまり、自律が求められる。

||  
TAの目的

## **TA**(Transactional Analysis＝交流分析)

アメリカの精神分析医エリックバーン博士によって1950年代に創案。

平易で特徴ある表現を使いながら、それでいて人間の深淵な部分まで解き示すことから、日常生活の諸問題から重度の精神病患者まであらゆるタイプの治療システムとして活用され、全世界に広まっています。



日本の教育改革請負人

松井 直輝

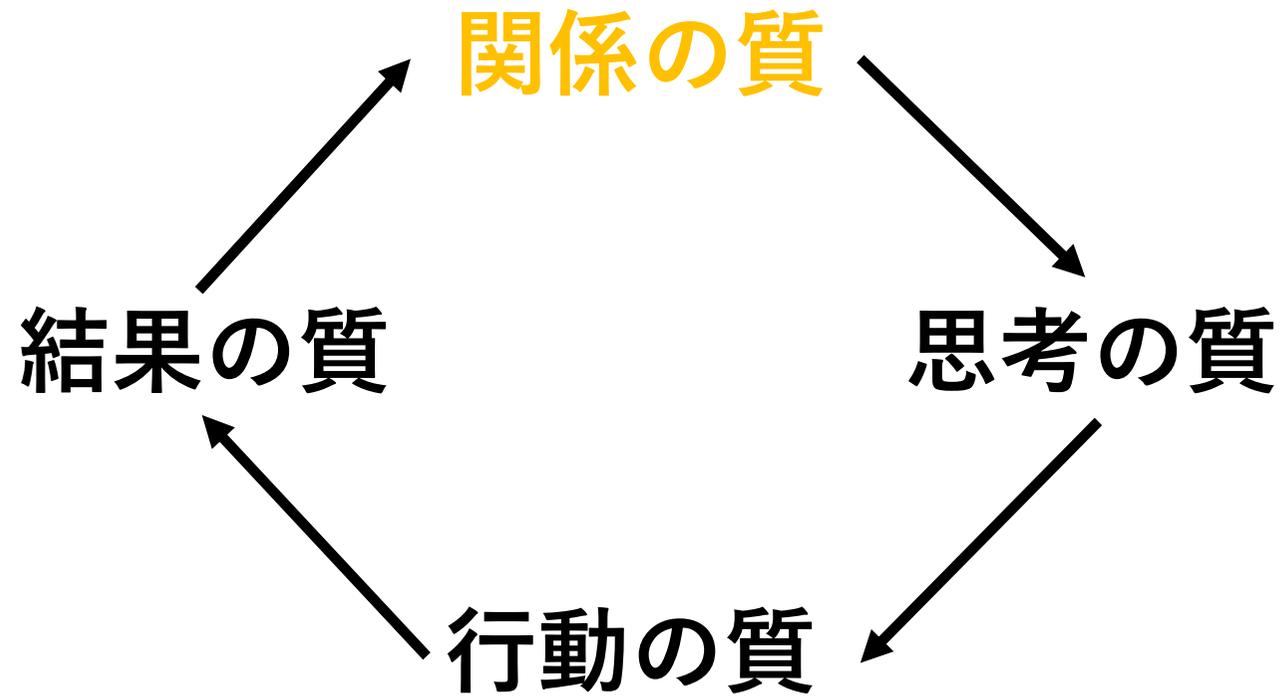
大阪生まれ。佛教大学社会学部を卒業後、学校法人泉新学園に勤務。97年、国際TA協会公認の交流分析士(教育)の資格を取得。99年には国際TA協会公認の准教授メンバー(教育)の資格を日本人で初めて取得。

2001年、学校法人泉新学園の学園長に就任。晴美台幼稚園(大阪府堺市)、城山台幼稚園、三石台幼稚園(和歌山県橋本市)(和歌山県橋本市)以上3園の園長と城山台幼稚園に併設するバンビーノ保育園を運営する社会福祉法人泉新会の理事長を兼任。

現在、教育システム研究所の所長ほか、子育てと教育支援のNPO法人エンジェルサポートアソシエーションの理事長など多岐にわたって活動中。2012年1月より大阪府松原市の教育委員に拝命。6月、泉新学園理事長に就任。

- ・ 自分を知ることができる。
- ・ 明快なコミュニケーションに役立ち、非生産的な人間関係の摩擦を防ぐことができる。
- ・ マネージメントやコミュニケーションのトレーニングに適している。

# 成功の循環



## TAの活用領域・分野

- ・臨床、心理療法
- ・カウンセリング（特に1vs1で）
- ・教育
- ・企業、組織

人には二つの問題解決の方法があります。

① いつもの解決方法 (脚本)

選択肢がない。

イヤな気持ちで事にあたる。

② 的確な能力発揮 (自律)

選択肢がある。

前向きな気持ちで事にあたる。

TAの目的 = 自律

今ここで必要な力を発揮できること  
(はまらないこと)。

思考、行動、感情をコントロールできる  
こと。

ストレスとは思い通りにならないこと。  
ストレスを感じるとはまってしまう。

\* 幸せ = 選択肢があること。変われること。

\* 不幸 = 選択肢がないこと。はまってしまうこと。

目的達成のためには、自分の思考・  
行動・感情を思うがままにコントロール  
できないといけない。

それを次の3ステップで考えます。



## 1. 気付き

うまくいっていないことに。

誰かの足を踏んでいることに。

何かにこだわっている自分に。

## 2. 自発性（自己責任）

今まで自分がとっていた行動は無意識に選択していたもの。それ以外の選択肢が見えてくる。

それを使って問題解決にあたることができる。



### 3. 親密さ



相手の思っていることを受け取りながら、自分の思っていることを相手に伝えることができる。

イヤーな気持ちにならずに問題解決することができる。

これらのことを達成してゆく具体的で実践的なツールがTAにはたくさんあります。

# 人が心理的にどのような構造であるかを説明する

## パーソナリティ理論

自我状態      ライフポジション  
エゴグラム      ラケット感情 …

現在の私たちの生活がいかに子ども時代に根ざしているかを説明して改善を図る。

## 発達理論

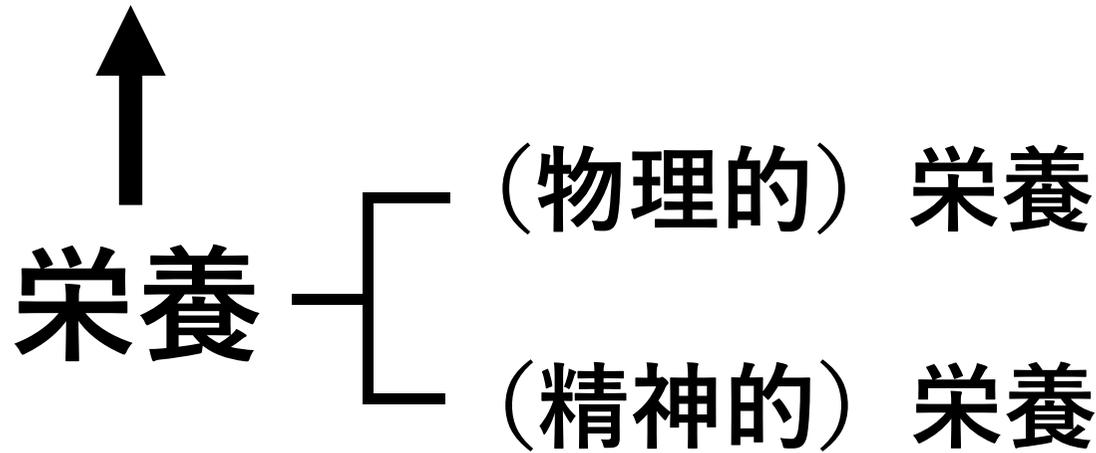
人生脚本      ディスカウント理論  
準拠枠      ドライバー …

人と人とのつながり、システムと組織  
を分析する。

## コミュニケーション理論

ストーリー      ゲーム      共生関係  
時間の構造化      やりとり分析      ...

生命の維持、成長



||

心の栄養 = ストローク

フリードリヒ 2 世  
(1712~86)

プロイセン国王。  
賢侯として有名。



## ストロークとは…

存在認知の一単位で、人の成長には  
欠かせないもの。

## ストロークの種類

- 身体的と心理的
- 肯定的（+）と否定的（-）
- 条件付き（行動）と無条件（存在）

## スキンシップについて

人間が思考や感情を生み出すのは、脳ではなく、腸などの内臓と皮膚である。脳は、その活動の単なる現れにすぎない。

十分な身体感覚や皮膚感覚というものは、豊かな心を育むためには不可欠であり、十分なスキンシップから得た『安心感』が自立して世の中を探求していく基盤になる。

－ 「子どもの『脳』は肌にある」 － 山口 創

# ストロークの出し方

	+	-
無条件	◎	×
条件付	◎	○

## プラスチック・ストローク

肯定的（+）で始まるが、最後は否定的（-）で終わる。

## マシュマロ・ストローク

肯定的（+）のようだが、誠意が伴わない。

まずは数多く出すこと！

## ターゲット・ストローク

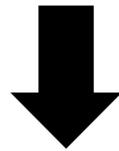
- ・ もらうと嬉しく、その通りになろうとする。
- ・ ストロークされた行動が強化される。  
(ネガティブの場合も)

例1. 「君に掃除をまかすとピカピカにしてくれるね！ありがとう。」 →

例2. 「不器用な君にはこの仕事は無理だ。もう頼まないよ。」 →

一番、（+）が心に貯まるのはターゲット  
ストロークをもらうこと。

ターゲットストロークをくれる（この人に  
会うと元気がもらえる、自分を取り戻せ  
る）という人を持つとよい。



**メンター**を持つ

# メンターを持つ方法

## II

あなたが誰かのメンターになること。

- (+) を貯めるためには、
- (+) ストロークを出すこと。



ストロークは気持ち、期待の表れ。  
こんな生徒（人物）になって欲しい  
という**理念、目標**を持つことが大切。



良いストロークを出すためには…

自分の心のコップが（＋）で溢れていなければならぬ。自分の財布に（＋）が貯まっていないと人にあげることもできない。（－）が貯まっていると（－）しか出ない。

心が（+）で満たされていないと良いストーリーは出せない。足りないのなら（+）を入れる。

そのための方法を持っていないといけない。



**ルーティン、セルフトーク、朝礼…**

## ストロークの受け取り方 (ストロークレベル)

- ・ ストロークの受け取り方は小さい頃に決めている = **幼児決断**
- ・ ストロークは必ず人生（生命）に必要  
→ ストロークの受け取り方 = **（人生）脚本**
- ・ （+）と（-）を受ける割合を、我々は幼い頃に命がけで決めている。

不幸な人間はずーっと（-）を言っている。ずーっと怒られている。

幸せな人間はずーっと（+）を言っている。ずーっと褒められている。

そういう人生を歩む決断をしてしまっている。いやならば変えることができる。

= **再決断**

## ストローク経済の法則（クロード・スタイナー）

- ①与えるストロークを持っていても、それを他人に与えない。
- ②欲しいストロークがあっても、それを他人に求めない。
- ③欲しいストロークが来ても、それを受け取らない。
- ④欲しくないストロークでも、それを拒否しない。
- ⑤自分自身にストロークを与えない。

## ストロークの正しい授受（迷信を打ち破れ！）

- ①与えたいストロークがあれば、いつでもそのストロークを与えよう。
- ②ストロークが必要な時は、ストロークを求めよう。
- ③欲しいストロークが来たら遠慮なく受け取ろう。
- ④欲しくないストロークが来たら、それを拒否しよう。
- ⑤自分で自分自身にストロークを与えよう。

## まとめ

1. (+) ストローク > (-) ストローク > ゼロ
2. まずは数多く。行動否定は○、存在否定は×
3. 常に自分を (+) ストロークで満たし、その方法も持っていなければならない。
4. 自分のストロークレベルを知り、必要であれば変えてゆく。(アレンジする)
5. メンターになろう！

大切なことは…

**理念、目的・目標  
を持つこと**

本日はありがとうございました。